

2017 (H29)	2015 (H27)	2014 (H26)	2013 (H25)	2011 (H23)	2009 (H21)	2008 (H20)	2006 (H18)	2003 (H15)	2003 (H15)	2002 (H14)	1998 (H10)
4.26	1.28	6.19	4.27	4.28	2.21	3.11	3.11	3.9	2.22	2.14	
市内小中学校へ日めくりカレンダー 「伊万里の思い出」贈呈	熊本県益城郡御船町へ震災支援金贈呈	カプトガニ繁殖地 国の天然記念物指定	学校適応指導教室「せいり」に 支援金贈呈	宮城県気仙沼向洋高校へ寄付	「手足のないチャリリーダー」(佐野有美さん)開催	結成45周年 ・気仙沼へ軽トラクレーン1台寄贈 ・いまりんバスのバス停10ヶ所設置 ・佐賀県アイバンク協会へ支援金贈呈 ・チャリティー公演会	第91回全国高校野球選手権大会(伊万里農林) ・小中学生を対象に「エンジン記念館・球泉洞」へ 視察旅行 ・国見台公園にちの木植樹 ・国見台トリムコースへ街灯設置 ・演芸大会「桂福団治・三味線漫才 暁照夫・光夫」	伊万里湾大橋 開通 第78回選抜高校野球大会出場(伊万里商業高校) 結成40周年	結成35周年 古伊万里ライオンズクラブ結成 伊万里駅前広場にマキの木 3本植樹 市内小学校5校へハナミズキを植樹 駅舎防犯カメラ設置へ助成 伊万里農林高校LEOクラブ結成及び 太鼓製作を助成	伊万里駅舎 完成 結成30周年 ・国見台野球場にフェニックス植樹 ・伊万里高校LEOクラブ結成・吹奏楽器贈呈 ・土曜夜市・どっちゃん祭りへ参加出店	



レオクラブ活動報告

伊万里農林高校レオクラブ

校外での活動

15年～

- 5月.....花苗定植(伊万里市民センター・伊万里市役所・伊万里市民会館・伊万里警察署・長浜国道沿い)
- 5月23日.....「有田川リバーフォーラム2100」清掃活動
- 5月24日.....「白い杖で歩こう」体験学習
- 7月31日～8月2日.....レオサマーキャンプ参加
- 8月19日.....「24時間テレビ」チャリティー募金活動
- 8月22日.....「有田川カワニバル」高齢者介助ボランティア
- 9月.....花苗定植(伊万里市民センター・伊万里市役所・伊万里市民会館・伊万里警察署・長浜国道沿い)
- 11月29日.....ライオンズクラブ冬季来日生ウェルカムパーティー
- 12月7～8日.....ライオンズクラブ冬季来日生授業体験

校内での活動

- 〇月に1回程度.....ペットボトルふた・プルタブ回収、清掃活動

伊万里農林レオクラブは、3年生3名、2年生2名、1年生7名の計12名で構成され、伊万里ライオンズクラブの支援を受けて活動しています。

活動内容は、地域からのボランティア要請に応えての活動、農業の学習を活かしての市民センターや市役所などへの花苗定植を行っています。活動の度に、人の役に立つことの喜びを感じます。また、留学生との交流やサマーキャンプへの参加など国際交流や他校との交流を通して、国際感覚を身につけ、自分の視野を広げることや、リーダーシップを発揮することなど様々なことを学んでいます。今後も自分たちのアイデアを活かしながら、積極的に活動していきたいと思っています。



YCE 受け入れ

Yeow Ying Hong siobhan 来日生



氏名: Yeow Ying Hong siobhan
シヨブオン

年齢: 16歳

性別: 女性

出身: シンガポール

ホストクラブ: 伊万里ライオンズクラブ
ホスト期間: 2018年11月28日～12月0日



ホームステイを体験して YCEプログラム委員長 井手清敏

平成28年11月28日月曜日 シンガポールから16歳の女の子がやって来ました。

その名はシヨブオン(Yeow Ying Hong siobhan) 3回目のホストファミリーですが、毎回不安のなかでホームステイをさせています。今回は母が入院して迷い、母に相談したところ自分にも合わせてくれとの事でしたので、到着のその日に病院に連れて行きました。母がおどけて歓迎してくれた事に、ありがたく、印象に残りました。この子に出来る限りのことをしてあげようと、強く決心しました。

彼女はデザイナー志望の自然や草花好きなどの優しい女の子でした。料理の経験は無い様でしたが、絵や折り紙が上手で手先が器用でした。すぐに病室に折り紙をプレゼントして喜ばせてくれました。

学校やライオンズクラブ会員の協力を得て、子供達との交流や介護施設や餅つき、着物の着付け焼き物の給付けなど体験させてやる事が出来ました。又、今回は、通訳の会の皆さんの活動や民際交流会でのパーティーに参加していただき楽しい時間を過ごす事が出来ました。その上にトントンテンのミニ神輿をいただき大喜びでした。

彼女から唯一頼まれたのがミュージアムに行きたいことでした。博物館はその町を知るには、最適な施設の様でした。おかげさまで、二週間ではありましたが、毎日、楽しい食事も出来、中身の濃い充実した時間が過ごせました。

話せなくても、言葉の壁は直ぐに越えられるのだと、毎回感じて居ます。瘦せた母とも別れを告げてくれました。

今回のホームステイが、平和を願う幸多い人生を送ってこれる事に役に立つ事を祈念しています。空港ロビーで、「しっかりと勉強してまた必ず伊万里へ来ます。元気で居てください。パパとママも是非シンガポールへも来て下さい。」と言ってくれました。本当にありがたい言葉でした。

沢山の思い出とお土産を持って東京へ向いました。クラブ会員始めレオクラブや多くの皆様にご協力をいただきました。本当に、お世話になりました。心から感謝申し上げます。ありがとうございます。